2021年度　高校国際教育支援事業

実施校を募集

神奈川県内の高校等へ
国際教育の講師を派遣します！

「国際教育とは？」
国際社会において、地球的視野に立って行動するための考え方や能力を育むための
教育活動全般を想定しています。（関連する分野：国際理解教育、人権教育、開発教育など）

多文化社会を生きる

グローバルな視野で活躍する先輩と出会う

留学生との交流

教員研修

オンライン講演・ワークショップが可能
はじめてのオンライン講演会でも安心。事前打ち合わせから当日の配信までスタッフがサポート。

公益財団法人 かながわ国際交流財団
Kanagawa International Foundation

事業概要

かながわ国際交流財団（KIF）は、「世界に開かれた神奈川、世界と結ぶ神奈川」を目指し、グローバルな視野を持ち、共生社会をつくる人材の育成や、県内における多文化共生の推進などを目的とした事業を展開する神奈川県所管の公益法人です。

一人でも多くの青少年が「世界の入口」に立てるよう、各種プログラムの企画相談・講師派遣を通じて、高等学校等の国際教育をサポートします。

実　施　概　要

対　　象　**神奈川県内の高等学校等**

※公立・私立を問いません。外国人学校（高等学校相当）からもご応募いただけます。

※クラス、部活、委員会等の活動も対象となります。

実施時期　**2021年5月10日（月）～2022年3月25日（金）**

応募方法　**企画書をE-mailにてお送りください。**

※企画書はこの募集要項の5ページ目、または、次のURLからダウンロードできます。

http:// www.kifjp.org/nimp/highschool

受付期間　**2021年3月22日（月）～2021年12月24日（金）**

※企画書の提出からプログラム実施の可否のご連絡まで最低2か月程度のお時間をいただいております。企画書は余裕をもってご提出ください。一部、企画書の提出から1か月半程度で実施可能なプログラムもございます。詳細はお問い合わせください。

※募集校数に達し次第、受付を終了いたします。

※講師や内容については、お気軽にご相談ください。

費　　用　**講師への謝金・交通費等は、原則として当財団が負担いたします。**

※謝金を伴う実施は1校につき年間1件とさせていただきます。

※学校に関連予算がある場合は、講師への謝金・交通費等をご負担ください。

※ワークショップの実施にあたっては参加者や講師の人数により、一部謝金のご負担をお願いする場合があります。

※できるだけ多くの学校にご参加いただくため、初めてお申込みいただく学校を優先し、当事業で５回以上講師派遣を行った学校のお申込みについては、他校を優先させていただく場合があります。

主　　催　**公益財団法人 かながわ国際交流財団**

後　　援　**神奈川県教育委員会、一般財団法人神奈川県私立中学高等学校協会**

お問い合わせ・お申し込み

公益財団法人かながわ国際交流財団　高校国際教育支援事業担当

住　所：〒 221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町 2-24-2

かながわ県民センター13階　多言語支援センターかながわ内

電　話：045-620-0011　　FAX：045-620-0025

E-mail：haken@kifjp.org

ホームページ：http://www.kifjp.org/nimp/highschool

国際教育プログラムの企画運営や講師に関するご相談は随時受け付けております。
有料でのプログラム実施についてもお気軽にお問い合わせください。

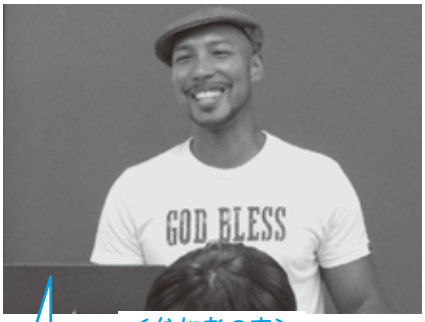
実施テーマ

〇国際的に活躍するNGO／NPO関係者や学識経験者等の講演のほか、少人数での参加型・対話型のワークショップや留学生とのディスカッションなどを実施しています。
〇対象の目的に応じて、下記のA～Eのテーマに応じた企画・講師派遣を行います。
下記のA～Eからお選びいただき、「企画書」(P5) に記入してください。

A 多文化社会を生きる

神奈川県には約173か国、22万8千人の外国籍県民が生活しています。新型コロナウィルスの感染拡大が続いている間は一時的に人の往来に制限がありますが、日本で働く外国人労働者、日本企業の海外進出、国際結婚等は確実に増えており、国の政策による新たな外国人の受入れも始まったことから、今後も海外から来日し、生活する人々は益々増加すると考えられます。多文化化する社会の現状と、異なる背景を持つ者どうしが共生していくために、何が必要かについて考えます。外国籍県民とのコミュニケーション力を向上するための「やさしい日本語」の講座や演習も可能です。

実施例 外国につながりのある講師による講演



＜参加者の声＞
人と違うところは自分の個性だと思って、色々なことに挑戦しようと思った。

実施例 外国人、障がい者など多様な背景を持つ人々との共生について講演

＜参加者の声＞
事故を起こしてもし自分の体が動けなくなっても、希望を捨てずに前に向かう人がこの世界にはたくさんいるということ、そのような生き方は人を笑顔にすることを教えてくれた。

実　績

実施校の累計 229校（平成19年度より実施）

実施校の内訳
県 立 高 校…68校、川崎市立高校…2校、横浜市立高校…4校、横須賀市立高校…1校
私 立 高 校…16校　※複数回実施している場合はカウントしていません。

B 留学生との交流・グループワーク

県内の大学や専門学校にご協力いただき、複数名の留学生を派遣します。
出身国や地域の文化や習慣についての紹介、来日目的や将来の夢についてのディスカッション等、少人数でのコミュニケーションを重視し他プログラムにより相互理解のためのヒントを学びます。
また、留学生との交流にあたり事前に「やさしい日本語」のワークショップなども可能です。

・留学生の出身国・地域の指定はできません。
・使用言語は相談に応じます。（日本語または英語）
・派遣可能時期は留学生の来日時期により異なります。ご相談ください。
（目安：5月中旬～7月上旬、10月上旬～１月上旬）
・同一時間帯に１クラスに対し、２～３名を目安に留学生を派遣します。複数クラスで同時に交流活動ができます。

実施例 各クラスで留学生による自国の文化などを紹介

＜参加者の声＞
出身国の地理や流行など、授業では学びきれないことを知り、楽しくとても良い機会だった。

実施例 来日目的、夢について小グループで意見交換

＜参加者の声＞
留学生から見て日本はどう見えているのか等を知ることができた。
自分も夢をもって行動できたらいいなと思った。

C グローバルな視野で活躍する人と出会う・進路を考えるきっかけをつくる

国外・国内を問わずグローバルな視野を持ち活躍する社会人から、高校時代から現在に至るまでの経験を語っていただき、将来や進路について考えるきっかけをつくります。

実施例 国際協力NGOの講師による講演

＜参加者の声＞
普通の高校生だったのに、今では世界を助ける仕事に就いていることは驚いた。私も色々な進路を考えたい。

実施例 ものごとを深く語り合う「哲学対話」のワークショップ

＜参加者の声＞
答えのない問いについて、みんなで考えてみて自分とは違う考え方や物事の捉え方を知り、共有することができて面白かった。

D 貧困、平和、人権問題など、地球規模の課題を考える

グローバル化が進む中、貧困や紛争、人権問題など、国際社会全体に関わる多くの課題が山積、複雑化しています。高校生世代が将来直面する「地球規模の課題」について考えます。

実施例 世界の格差や多様性を体感するワークショップ

＜参加者の声＞
実際に動いて体験することでリアリティを感じることができた。
あまり話したことのない人とも交流を深められた。

E 教員研修（講演、ワークショップ、フィールドワーク等）

これからのグローバル社会を生きるために必要な力として、語学力に留まらないコミュニケーション能力、主体性・積極性、協調性・柔軟性、異文化に対する理解や次世代まで視野に入れた社会貢献の意識などが挙げられています。
生徒の主体的な参加やコミュニケーションを促すワークショップの体験、フィールドワーク実施のための教員向け研修も可能です。

外国人コミュニティのフィールドワーク等

E-mail：**haken@kifjp.org**
公益財団法人かながわ国際交流財団　高校国際教育支援事業担当 行

2021 年度「高校国際教育支援事業」企画書

学　校　名	
学　校　長	
担 当 教 員	
住　　所	〒　　-
電話番号	電話： 連絡のつきやすい時間帯（　　）
E-mail	@
実施希望日時	第一希望：　　年　　月　　日（　） 第二希望：　　年　　月　　日（　） 時間：　　～
実 施 会 場	
最寄り駅・バス	電車：　　線　　駅　／　バス： 最寄りの駅・バス停からの徒歩　　分
対　　象	学年等：　　人数：　　名（　　クラス） 部活・委員会名等：
テ　ー　マ ※実施テーマから お選び下さい	□ A …… 多文化社会を生きる □ B …… 留学生との交流・グループワーク □ C …… グローバルな視野で活躍する人と出会う・ 進路を考えきっかけつくる □ D …… 貧困、平和、人権問題など、地球規模の課題を考える □ E …… 教員研修
希望する プログラム及び 講師	※プログラム内容のイメージや期待する効果等を具体的にご記入ください。
年間計画等に おける 本プログラムの 位置づけ	

プログラム実施までの流れ

1 企画書のご送付

・所定の企画書（P5）に、必要事項をご記入の上、E-mailにてお送りください。
・企画書提出からプログラム実施の可否のご連絡まで最低２か月程度のお時間をいただいております。企画書は余裕をもってご提出ください。一部、企画書の提出から１か月半程度で実施可能なプログラムもございます。
・企画段階でのご相談もお受けしております。お気軽にご連絡ください。

2 実施の可否のご連絡

・企画書の内容について確認し、企画書提出後２か月をめどに実施の可否をご連絡します。
・企画内容、時期などにより、ご希望に応じられない場合はお断りすることがあります。
・応募多数の場合は、本事業により過去に支援を受けた回数の少ない学校を優先します。

3 確認書のご提出

・日程、講師等の確定後、確認書をお送りします。必要事項をご記入いただき、公印押印の上、ご提出ください。

4 事前打ち合わせの実施

・プログラム内容、当日の進行、機材などについて事前打ち合わせを行います。
プログラム実施の１か月から２週間前までに、実施校のご担当の先生、講師と当財団担当者の三者で、かながわ国際交流財団の事務所（横浜駅から徒歩５分）、または講師が指定する場所までお越しいただくようお願いいたします。対面での打ち合わせが難しい場合はオンラインでも可能です。

5 プログラムの実施

・実施校による司会進行のもと、プログラムを実施します。当日は当財団担当者も同行し、講師のフォローを行います。
・パソコン、プロジェクター、音声機材等の準備、設置、設定は実施校にお願いいたします。
・当財団の協力による実施である旨、受講者に明示をお願いいたします。また、当財団が実施する高校生向けのプログラムを受講者にご紹介することがあります。
・プログラムの様子を撮影し、広報等に活用する場合があります。
・プログラムの実施について学校ホームページ、広報誌などに掲載する場合にも、当財団の協力による実施である旨、明記をお願いいたします。

6 アンケートのご協力

・ご担当の先生とプログラムの受講者には、プログラム終了後にオンラインにてアンケートの実施へのご協力をお願いいたします。アンケートは当事業の改善及び広報等に活用する場合があります。

国際交流・多文化共生についての高校の部活の活動をお手伝いします！

「外国人住民の方とコミュニケーションをとりたい」「地域で活動している多文化共生の団体について知りたい」など、部活で活動するにあたっての情報提供や企画の立案など相談に乗りますので、ご連絡お待ちしています。

Tel:045-620-0011　Email: haken@kifjp.org

高校生などを対象としたセミナー情報については、こちらのインスタをフォロー！